

横浜こどもスポーツ基金 「永田台小学校YC&AC遠足」 報告

|                |   |
|----------------|---|
| 日 時            | 2021. 12. 21  |
| 場 所            | YOKOHAMA COUNTRY&ATHLETIC CLUB (YC&AC)  |
| 参加者<br>(うち障害児) | 35名<br>(26名)  |
| 活動写真・内容など      | <p>12月21日(火)に山手駅近くにあるYOKOHAMA COUNTRY&amp;ATHLETIC CLUB (YC&amp;AC)へ遠足に行きました。事前学習では、学級ごとに外国語と自立活動の授業と関連させて昼食の注文の仕方を学習したり、4～6年生の児童を中心にしおりの作成や、出発式や到着式の進行を担当する実行委員に分かれて活動したりしました。当日はコロナ禍での遠足ということもあり、感染症対策の一つとして移動時のバス車内での密を避けるために、3台のマイクロバスを借りて学校から向かいました。乗車前には消毒液等で手指の消毒を行い、乗車後は私語厳禁の約束でしたが、全車両の児童が約束を守って現地まで過ごすことができました。</p> <p>施設に到着すると、荷物を置いて全員で写真撮影を行い、グループ別の活動を行いました。ここでも、密を避けるために6つのグループに分かれ、さらに3グループずつボウリングとアスレチックに分かれて活動しました。ボウリングでは順番を守りながら取り組むだけでなく、上学年が下学年を思いやる場面も時折見られました。多くのピンを倒した児童がいて、「どうやったの。」と投げ方のコツを聞く様子もあり、児童同士の関わり合いも見られました。アスレチックでは、学校にはない遊具が多くあったため、思う存分体を動かすことができました。ブランコや滑り台は順番を自分達で決めて仲良く遊ぶことができました。</p> <p>昼食の時間になると、大広間に全員で集まり、手指を消毒して学習してきた注文の仕方を思い出し、スタッフの人に引換券を渡して昼食を購入しました。「one ○○ please.」と、すぐに言える児童もいれば、「何て言うんだって。」と悩む児童の姿も見られました。ある4年生の児童は、発音や言い方をメモした用紙を持参して、自分の番が来るまで繰り返し練習していました。</p> <p>昼食も終わり、大きな怪我もなく学校に無事帰ることができました。どの児童も「楽しかった。」「また行きたい。」と感想を述べていました。翌日、施設のスタッフ宛てにお礼の手紙を一人ひとりが書き、担任が届けました。</p>  |
| 全体所感           | <p>今年度の夏の教育課程でも話題に取り上げられていた「自立活動を関連させた教科学習」を、今回は遠足と関連させて取り入れようと考えました。外国語を用いたコミュニケーションの取り方を意識し、自分の買いたい物を購入することをゴールに設定していたため、事前の学習からたいへん意欲的に取り組む様子が見られました。また、ボウリングでは倒したピンの数を数えることで、算数の学習とも関連させることができました。</p> <p>コロナ禍で多くの制限がある中で、買い物学習を取り入れることが出来たのはたいへん良かった、今後の継続して児童の自立に繋がるよう他教科と関連させた自立活動を取り入れていきたいと思えます。</p>   |

主催：横浜市立永田台小学校